

【調査内容】

地域ブランド調査は、地域のブランド力を消費者視点で評価・測定する仕組みとなっています。調査対象となる1047地域に対して、「認知(地域が知られているか)」、「魅力(地域がどのように評価されているか)」という大きく分けて二つの指標、84項目を設定しました。

「魅力度」では、その地域が魅力的かどうかを問い合わせ、さらにその魅力が何に起因するか居住、観光、産品、またイメージといった様々な項目を設け明らかにします。

2018年の調査では、前年まで「情報接觸コンテンツ」として設けた設問を「地域コンテンツの認知」に改称。「地区などの地理的名称」など6項目を新たに加えました。

また、出身都道府県に対する愛着度や自慢度についても26項目を設けて調査しています。

調査概要

- 調査名称 地域ブランド調査2018
- 調査期間 2018年6月～7月
- 調査方法 インターネット調査
- 回答者 日本全国を6地域に分けて回収
各年代別(20代～70代)ほぼ同数ずつ回収
約3万人
- 有効回答数 47都道府県、全国1,000市区町村
(791市+東京23区+186町村)の
計1,047自治体
- 調査対象 株式会社ブランド総合研究所

●調査項目(110項目)

知られているか	どのように評価されているか	愛着・自慢度
認知度	「ドラマや映画」、「小説・エッセイ・マンガなど」、「旅やグルメに関する番組」、「旅行パンフやガイドブック」、「物産展や催事(カタログ)など」、「自治体等のブログやSNS」、「友人、知人・家族」等14項目	
情報接觸度		
情報接觸経路		
地域コンテンツの認知	「地区などの地理的名称」、「ご当地キャラクター」、「ご当地アイドル」、「ご当地グルメ」等16項目	
魅力度		
まちのイメージ	「歴史・文化のまち」、「学術・芸術のまち」、「観光・レジャーのまち」、「スポーツのまち」、「国際交流のまち」、「環境にやさしいまち」、「農林水産業が盛んなまち」等14項目+「イメージ想起率」	
地域資源評価		
居住意欲度	「海・山・川・湖など自然が豊か」、「魅力的な温泉やレジャー施設・公園がある」、「スポーツの参加・観戦が楽しめる」、「魅力的な伝統芸能・祭り、イベントがある」、「魅力的な街並みや歴史建造物がある」等16項目	
訪問経験		
観光意欲度		
产品購入意欲度	「行楽・観光」、「スポーツイベントに参加・観戦」、「食・グルメイベントに参加」、「ビジネス(出張)」、「買い物・食事」等16項目	
产品想起率		
愛着度	地名に対する購入意欲、食品、食品以外の产品想起率3項目	
自慢度・自慢できる要素		
ふるさと納税	「ふるさと納税」経験の有無、納付先、「ふるさと納税」をした理由、「ふるさと納税」をしてみたいと思う理由等	

【TOPICS 調査結果から見えてくるもの】

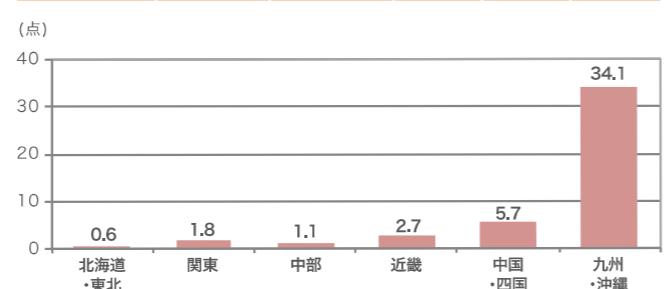
●九州居住者は地元愛が強い!?

地域ブランド調査では、各地域の調査結果について単純集計(全国評価)とは別に、回答者の居住地別で属性クロス集計も行っています。居住地は、北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄の6ブロックに分けています。本項では2017年の市区町村の魅力度結果から、その特徴を一部ご紹介します。

各市区町村の単純集計結果(日本全国からの評価)と、それぞれが属する居住地ブロック別集計結果(地元からの評価)の点差を比較しました。日本全国からの評価よりも、地元からの評価が高い地域は、九州・沖縄ブロックの市区町村が上位に並ぶ結果となりました。福岡市(全国14位)や高千穂町(同71位)といった、全国的に高い魅力度の市区町村もあるなか、単純集計では必ずしも高い魅力度とはいえないものの、地元住民からは非常に高い評価を得ている市区町村もみられます。

最も点差が大きかったのは糸島市(福岡県)で単純集計とブロック別集計の差は29点でした。日本全国からの評価では5.1点で全国432位と魅力度は低くなっていますが、地元である九州・沖縄居住者に限ると、点数は34.1点と非常に高い点数となっています。同市の他の地域居住者結果と比較すると突出した結果となり、全国的には魅力的とみられていない(あるいは知られていない)地域でも、ある属性にフォーカスすると、非常に高い評価を得ている地域が存在します。

市区町村	都道府県	地元ブロック	魅力度(点)		点差
			全国	地元	
糸島市	福岡県	九州・沖縄	5.1	34.1	29.0
有田町	佐賀県	九州・沖縄	13.2	39.4	26.2
福岡市	福岡県	九州・沖縄	30.0	54.7	24.7
高千穂町	宮崎県	九州・沖縄	18.0	42.7	24.7
山鹿市	熊本県	九州・沖縄	5.4	27.0	21.6
雲仙市	長崎県	九州・沖縄	13.7	33.8	20.1
八乙女市	福岡県	九州・沖縄	7.6	26.6	19.0
宇佐市	大分県	九州・沖縄	5.5	24.4	18.9
小国町	熊本県	九州・沖縄	4.4	22.9	18.5
白浜町	和歌山県	近畿	15.7	33.7	18.0



【上:全国よりも地元から高評価の市区町村 下:糸島市の居住地別魅力度】

4

お問合せ先:

株式会社ブランド総合研究所

東京都港区虎ノ門1-8-5(〒105-0001)

TEL: 03-3539-3011 FAX: 03-3539-3013

E-mail: survey2018@tiiki.jp http://tiiki.jp/

会社概要(株式会社ブランド総合研究所)

代表者 : 田中章雄(代表取締役社長)
設立 : 2005年11月
資本金 : 2,500万円
主な事業内容 : 地域や企業の調査およびコンサルティング
ホームページ : <http://tiiki.jp/>

2018年8月発行

全国3万人による自治体の通信簿

第13回地域ブランド調査2018

調査内容と各種報告書のご案内

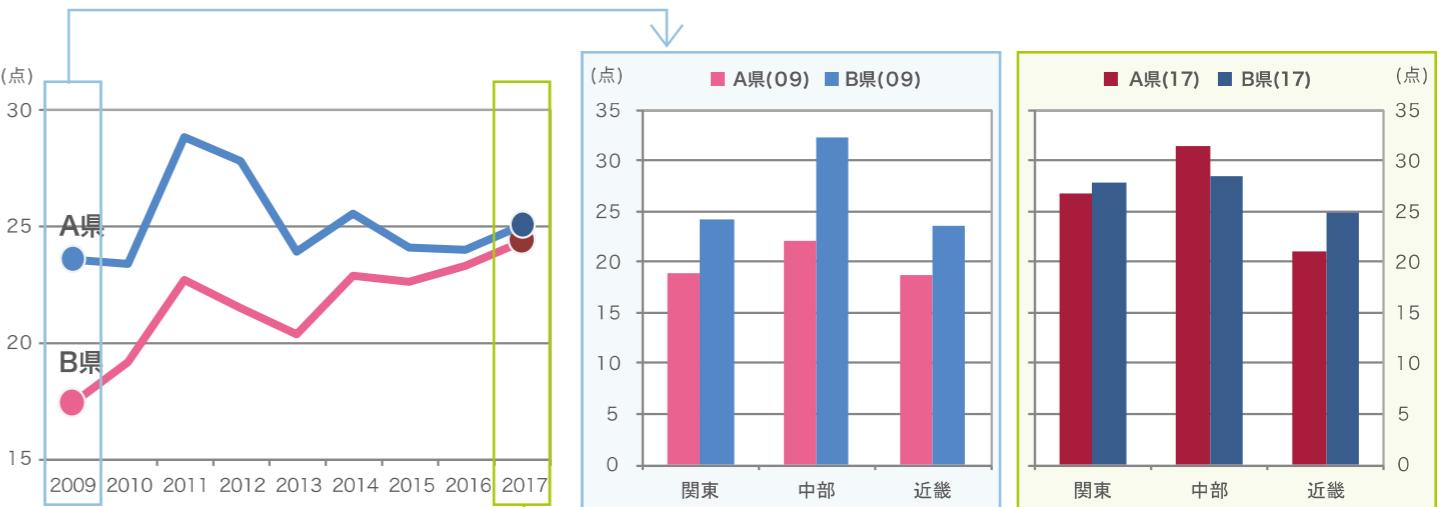
BRI ブランド総合研究所
BRAND RESEARCH INSTITUTE, INC.

あなたの地域がどう評価されているのかが分かる!

ある2地域の魅力度経年推移 ⇒ 居住地別の回答結果を比較すると…

9年間で2地域の魅力度がほぼ同じ水準になっています。

居住地別回答者の結果では、関東、中部居住者の魅力度が接近しているのが分かります。



地域ブランド調査2017活用地域

都道府県……33都道府県
市区町村……170市区町村

全国各地の都道府県/市町村の他、地方議会、大学、調査会社等様々な方面でご活用いただいております。

メディア掲載(発表後3ヶ月間)

新聞記事/WEB記事掲載数……385媒体

地域ブランド調査2017発表から3ヶ月のみの掲載数です。そのほか、テレビニュース、地域情報番組等多数のメディアで掲載いただいており、地域を評価・分析する指標として多くの場面で活用いただいております。

地域ブランド調査を活用し、戦略的に地域のブランド力を高めてみませんか?

地域ブランド調査とは

「地域ブランド調査」は、全国約30,000人による自治体のブランド力を徹底評価する日本最大規模の消費者調査です。毎年実施されているもので、今年で13回目の実施となります。1047地域(1,000市区町村及び47都道府県)を対象とした、いわゆる国民視点による「自治体の通信簿」です。魅力度、認知度、情報接觸度、各市区町村のイメージ(「歴史・文化のまち」など14項目)、情報経路別の接觸度(「旅番組」など14項目)、地域コンテンツの認知(「ご当地キャラクター」など16項目)、観光意欲度、居住意欲度、产品的購入意欲度、地域資源の評価(「街並みや魅力的な建造物がある」など16項目)など調査項目は全84項目に及び、各地域のブランド力を多角的に分析できます。また、出身都道府県に対する愛着度、自慢度、自慢できる地域資源(「地元の食材が豊富なこと」など24項目)など出身者からの評価についても全26項目の設問を設け、合計110項目にわたり調査を実施しています。調査項目等調査概要是4ページ目をご参照ください。

有効回答者数

約30,745人
(参考値:地域ブランド調査2017回収数)

調査対象地域数

1047地域

調査項目数

110項目

次項からは各種報告書の紹介です



